

まとめ：ごみかん理事 小野寺 勲

この研究会（座長：三橋規宏千葉商科大学名誉教授）は、リユースに関する様々な取り組みの活性化を図るため、使用済製品の流通実態を把握した上で、今後のリユース推進に向けた課題や支援策を検討することを目的として設置されたものです。報告書は全316ページ。消費者（家庭や事業所）から発生する不用品の中で、リユースショップへ行く割合が比較的高い品目は、書籍、ゲーム機、衣類、家具、デジタルカメラ、スポーツ用品、パソコン・周辺機器。これらの品目では、書籍と家具を除き、C to C（消費者から消費者への直接譲渡）も目立ちます。

品目別の不用品排出流通フロー推計結果

	過去1年の 不用品発生数	排出・引渡先の上位	リユースへの流通	
			リユースショップ	「C to C」リユース (うちネットオークション)
テレビ	2,646万台	1) 小売など流通業(約61%) 2) 市中回収業者など(約14%) 3) 自宅等で保管(約12%)	91万台(3.4%)	74万台(2.8%) (23万台(0.9%))
エアコン	665万台	1) 小売など流通業(約64%) 2) 市中回収業者など(約10%) 3) 自宅等で保管(約9%)	21万台(3.1%)	12万台(1.7%) (1万台(0.2%))
電気洗濯機 ・乾燥機	503万台	1) 小売など流通業(約63%) 2) 市中回収業者など(約14%) 3) 自宅等で保管(約8%)	30万台(5.9%)	14万台(2.7%) (1万台(0.2%))
電気冷蔵庫 ・冷凍庫	538万台	1) 小売など流通業(約70%) 2) 市中回収業者など(約8%) 3) 自宅等で保管(約8%)	28万台(5.2%)	21万台(3.9%) (1万台(0.2%))
家具	1,392万個	1) 市町村(約44%) 2) 自宅等で保管(約17%) 3) リユースショップ(約14%)	192万個(13.8%)	77万個(5.5%) (3万個(0.2%))
衣類	71,011万着	1) 市町村(約35%) 2) リユースショップ(約25%) 3) 自宅等で保管(約16%)	17,522万着(24.7%)	7,220万着(10.2%) (2,337万着(3.3%))
デジタルカ メラ	957万台	1) 自宅等で保管(約49%) 2) リユースショップ(約14%) 3) 「C to C」のリユース(約13%)	131万台(13.6%)	129万台(13.4%) (59万台(6.2%))
携帯電話	2,331万台	1) 自宅等で保管(約67%) 2) 小売など流通業(約21%) 3) リユースショップ(約4%)	82万台(3.5%)	53万台(2.3%) (38万台(1.6%))
ゲーム機	708万台	1) 自宅等で保管(約36%) 2) リユースショップ(約29%) 3) 「C to C」のリユース(約10%)	203万台(28.7%)	74万台(10.4%) (35万台(5.0%))
パソコン・ 周辺機器	2,932万台	1) 自宅等で保管(約39%) 2) 市中回収業者など(約15%) 3) リユースショップ(約11%)	320万台(10.9%)	310万台(10.6%) (159万台(5.4%))
書籍	118,774万冊	1) リユースショップ(約60%) 2) 市町村(約12%) 3) 自宅等で保管(約11%)	71,701万冊(60.4%)	7,794万冊(6.6%) (5,713万冊(4.8%))
自転車	1,555万台	1) 市町村(約30%) 2) 自宅等で保管(約27%) 3) 市中回収業者など(約16%)	91万台(5.9%)	121万台(7.8%) (8万台(0.5%))
カー用品	1,182万個	1) 自宅等で保管(約30%) 2) 小売など流通業(約20%) 3) 市町村(約17%)	70万個(6.0%)	178万個(15.1%) (129万個(10.9%))
スポーツ用 品	1,153万個	1) 自宅等で保管(約39%) 2) 市町村(約24%) 3) リユースショップ(約13%)	152万個(13.2%)	146万個(12.7%) (59万個(5.1%))
その他	8,919万個	1) リユースショップ(約32%) 2) 市町村(約21%) 3) 「C to C」のリユース(約20%)	2,837万個(31.8%)	1,781万個(20.0%) (1,269万個(14.2%))

※推計対象期間は過去1年間（平成21年12月～平成22年11月）。